

歴史から見る近代相撲

Modern sumo wrestling seen from history

1K06A004

指導教員 主査 小野沢弘史先生

青山 智昭

副査 太田章先生

【はじめに】

私は小学四年生の頃から相撲を学び、12年間相撲を続けてきた。高校時代には全国優勝を遂げ、今でも最高の思い出となっている。相撲に携わってきて感じたのは、中学、高校、大学と成長するにつれ、相撲のスタイルが変わっていったということである。相撲は時代とともに根本的に変わってきているのかと疑問を持った。そこで相撲の変化を歴史を追っていくことで、相撲という競技をもっと理解することができ、相撲の見方が変わるのではないかと考えた。相撲の歴史だけではなく、金銭、相撲スタイル、事件などに着目し、様々な視点から相撲をみようと思った。歴史中心に述べ、比較することで近代相撲の実態が見えてくると考えた。

【第一章】

第一章では相撲の歴史と形態について述べた。相撲の起源から興行へと移り変わる時代を追って、大相撲の原点を論じた。そして早稲田大学相撲部の創部から発展をみて、早慶戦の始まりや歴代の成績とともに学生横綱を紹介した。また、日本の相撲と比べ、世界でどのようなものが相撲と呼ばれているのか、アジアやヨーロッパの相撲を調べ、それぞれのルールと競技内容を記した。

【第二章】

第二章では力士の視点から見た大相撲に着目して述べた。横綱の誕生を歴史から調べ、横綱昇進に必要な最低条件を述べた。そこで、横綱

に昇進した力士達はどのような共通点があるのかを調べ、昭和の横綱から現在の横綱までの体型、相撲スタイル、土俵入りの型を調べ、比較した。また、大相撲の世代交代や連勝記録の名取組を私が厳選し、自らの視点で述べた。仕切りと立合いについても説明し、立合いに必要な3つの要素を論じた。立合いは歴史とともに変わり、立合いが乱れていった原因を詳しく探った。

【第三章】

第三章では力士達の待遇について述べた。力士になるために必要な年齢、体格、スポーツテストの項目などの条件を紹介した。江戸時代の興行相撲から、時代とともに変わっていく力士の待遇を調べた。大相撲の関取の報酬を様々な項目に分け、年収の合計額を算出し、平成21年と昭和50年を比較してみた。また、それぞれの分配金の内容の説明とともに金額を記した。そして大相撲の給与は優れているのかを明らかにするため、様々なプロスポーツの年収と比較して、意見を述べた。

【第四章】

第四章では相撲協会を揺らがす事件について述べた。相撲協会は事件によって内部体制が変化することが多く、実際にそれぞれの事件にはどのような共通点があるのか述べた。近年の貴乃花改革案や大麻問題の事件にも触れ、事件に対して考え、意見を述べた。

【終わりに】

これまでの様々な相撲の歴史を見てきて、時代の移り変わりによって大相撲に大きな変化をもたらしていることが改めて分かり、近代相撲について結論を述べた。そしてこれまで比較してきた項目について意見をまとめた。改めて相撲という競技に興味を持ち、もっと深く追求できる競技だとわかった。これからも発展していく相撲について深く考え、意見を述べた。